２０２１年　７月　１日

樋口社長 安全メッセージ

１．はじめに

東北電力グループの皆さん，毎日のお仕事お疲れさまです。

エネルギーの安定供給に向けた設備の保守・管理，地域・お客さまへの対応をはじめ，皆さんそれぞれの業務について，安全確保を最優先に，ご尽力いただいてますことに感謝申し上げます。

今年度も四分の一が経過しましたが，グループ各社で人事異動が行われ，みなさんの職場でも新体制のもと，気持ち新たに，スタートをきったところと思います。

さて，本日７月１日は「全国労働安全週間」，そして，東北電力グループ「夏季労働安全推進運動」の初日となっております。これから夏場特有の労働災害の発生が心配されることから，より一層，気持ちを引き締めて，安全の確保に向けた取組みを進めていく必要があります。

このため，安全に対する思いを皆さんと共有すべく，わたくしよりメッセージを発信させていただきます。

２．昨年度を振り返って

まず，昨年度を振り返りますと，８月に水力発電所において作業員の死亡災害が発生しました。その後，９月，１０月にも連続して死亡災害が発生し，３名の方の尊い命が失われました。また，昨年度末には，伐採作業において，今現在も意識が戻らない重篤な状態が続いている重大災害も発生しております。

さらに，死亡災害に直結する墜落災害など，重傷災害は２８人となっており，これは，近年増加傾向にあるとともに，今年度は，すでに５人の重傷災害が発生しております。

グループ全体の社員による通勤災害を含む労働災害については，１５９人が被災しており，そのうち，１１人が重傷災害を負っています。また，私たちの仲間のひとりが通勤災害で亡くなるという痛ましい災害も発生しています。

死亡災害は，１９９８年以降，２３年間に亘り連続して発生しており，さらに，過去５年間での死亡被災者は１４人を数え，当社グループは電力１０社大で最も劣位にあるという，非常に厳しい現実に立たされております。

３．東北電力グループ全員の安全に対する取組み

このように，死亡災害や重傷災害の増加に歯止めがかかっておらず，極めて危機的な状況にあると考えています。何故でしょう？私たちは，このような状況を真摯に受け止め，一人ひとりが自分事として，安全に対する姿勢を問い直す必要があるのではないでしょうか。

「安全の確保はすべての事業活動において最優先する」という私たちの原点を改めて認識し，中長期ビジョン「よりそうｎｅｘｔ」で掲げている『安全最優先の企業文化の構築』に向けて，グループ一丸となって取り組んでいかなければなりません。

そのためには，まず，安全に対する，一人ひとりの意識を高める必要があると考えています。安全について，グループで働く全ての人が自分事として捉え，想像力を働かせながら，能動的に行動していかなければなりません。この「東北電力グループ安全・保安方針」に示す５つの項目があります。

１．常に安全確保を最優先に行動する
２．立ち止まる勇気を持つ
３．常に問い直し，問いかける習慣を持つ
４．自らの役割と責任を自覚し行動する
５．コミュニケーションを常に心がけ，情報を共有する

この５つを，まずは，一人ひとりが徹底的に実践し，日頃の行動に定着させていただきたいと思います。ゼロ災を達成するための第一歩は，何よりも皆さん一人ひとりの意識と行動です。

その上で，安全には組織の力が欠かせません。過去の反省・教訓を自分の組織・現場に置き換え，同様の事例を起こさないためにどうしたらよいかということを徹底的に考え，関係者で共有し，組織全体として安全の仕組みを高めていくことが求められます。

安全に対する「一人ひとりの高い意識」「組織としての取り組み」，この二つがしっかりと噛み合うことが，『安全最優先の企業文化の構築』につながっていくと考えています。その点を十分に認識し，安全に対する取り組みを進めていただくようお願いいたします。

４．おわりに

最後になりますが，これから夏本番を迎え，労働環境はますます厳しさを増し，加えて，新型コロナウイルス感染症対策を行っている状況下にある中で，特に熱中症や酷暑にともなう疲労の蓄積，集中力の低下など，災害のリスクが高まります。

このような時期だからこそ，万全の対策をとり，無災害で乗り切っていきたいと思います。

皆さん一人ひとりが，自分の命は自分で守る，仲間の命も自分が守るという強い決意で，ゼロ災の達成を目指し，ともに取り組んでまいりましょう。

ご安全に！

以　上